

《 本校教育目標 》

自ら学び 自ら考え 共にたくましく生きる生徒の育成

平成 30 年度からの課題

体格は全国平均を下回る。

新体力テストの結果は県平均とほぼ同等か、種目によっては上回る。

運動・健康に関するアンケート結果では、毎日朝食をとれていると答えた生徒が全体の約 80%以上と昨年度とほぼ同等。

生徒全体の約 50%以上が運動部に所属している。

本年度の取り組み

● 生徒の運動への意識を、運動を理論づけて思考させることを目標とする

○ ワークシートの工夫

例) 問いに対し、一答ではなく、多彩な答え方ができるような工夫

○ グループ学習では言語活動が活発にできるよう工夫

例) ○○を△△する～ のように、助言・アドバイスの仕方や気がついたことを発表する際に、あえて話し方を指定する。

● グループ学習の多用・多様化

● 毎授業の基礎体力トレーニング（引き続き）

運動を体ではなく、言語で表現して伝えることがスポーツに関わる様々な役割を認識させるとともに、「体で運動を表現することが苦手な生徒」が意欲的に活動できる場を設定することで、参加への促進と、身体表現のレベルアップを図る。

結果として、新体力テストの結果は良い傾向にあるが、学年が入れ替わったためと考えられなくもない。依然として生徒のスポーツへの関心、得意意識は授業中のアンケートからも高くはない。昼休みに多くの生徒が運動場でスポーツをする学校へと、職員が共通認識をもって取り組むべきである。